

TOTO

洗面化粧台

L DCC060・075型

商品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1

安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。	必ず実行	は、必ず実行していただく「強制」内容です。
---------------	--------------------	-----------------	-----------------------

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告		
浴室など湿気の多い場所へ設置しない おそれがあります。	水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う 火災や感電および水漏れの原因になります。	電源はAC100Vを使用する AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。
禁止	必ず実行	必ず実行

警告	
壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。	13mm以下 木さん
必ず実行	

注意		
湯・水を逆に配管しない 水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。	浴室など湿気の多い場所へ設置しない 木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。	市販のジャバラ管トラップは使用しない 水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。
禁止	禁止	禁止
凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う 凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。	取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないか確認する 使用中にキャビネット・扉が落下しけがをするおそれがあります。	取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する 水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。
必ず実行	必ず実行	必ず実行

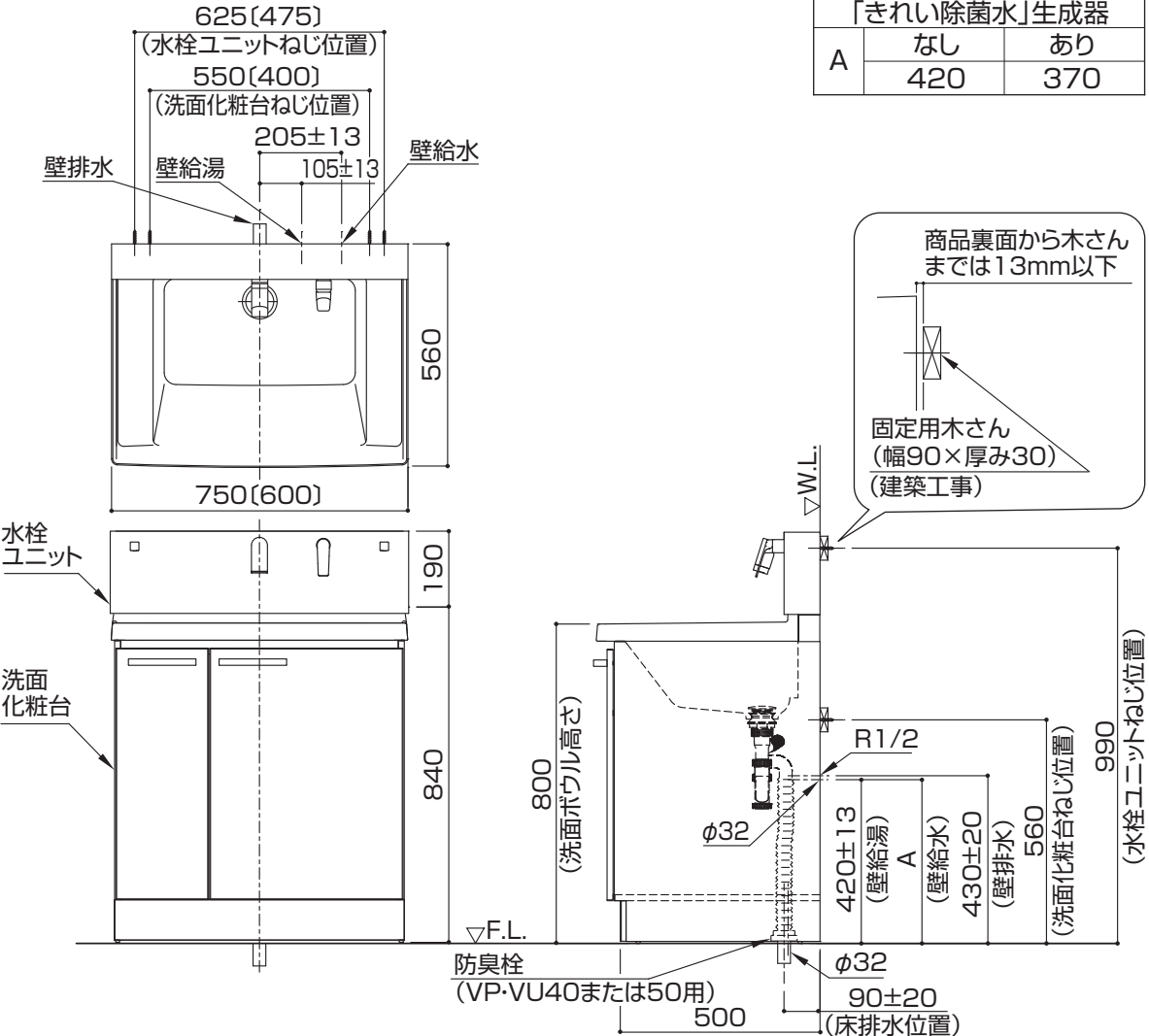
2

設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- ※フットスイッチを取り付ける場合も、止水栓の床からの高さ寸法は同一です。(体重計収納とフットスイッチの組み合わせはできません。)
- 壁排水の場合は、壁排水トラップは付属していませんので別売品のL095をご購入ください。

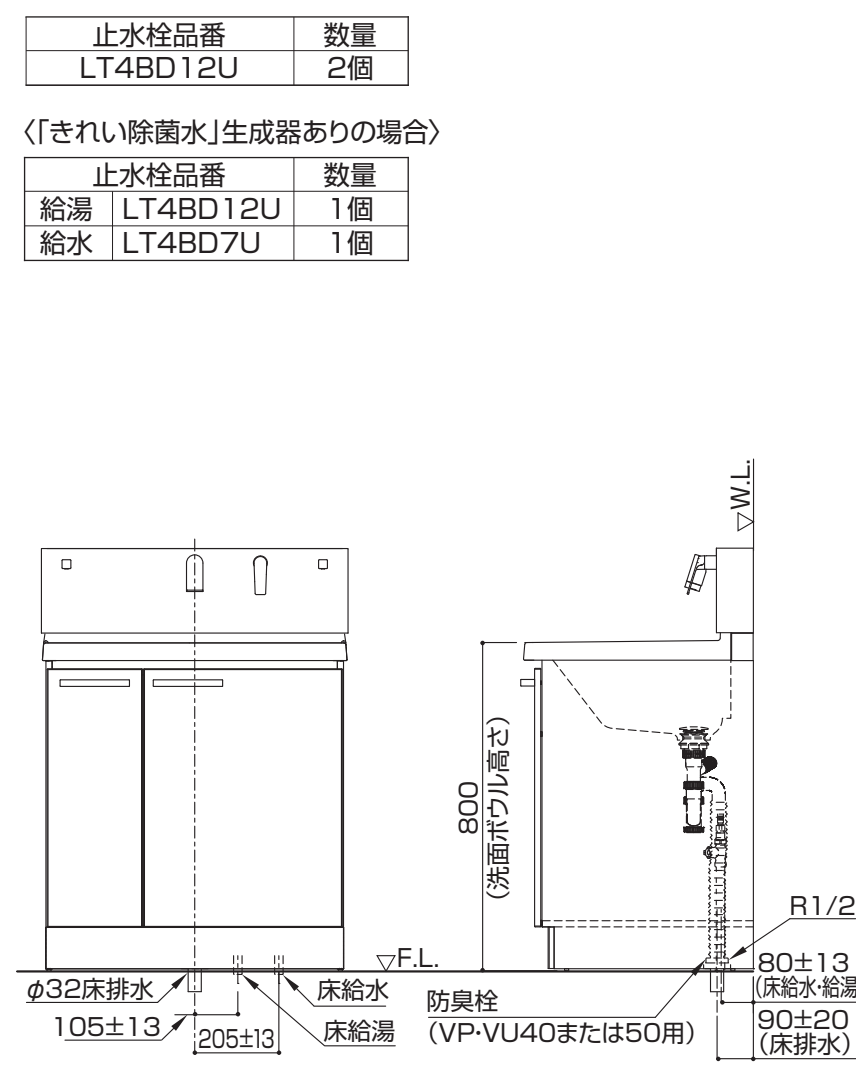
【壁給水の場合】

- 止水栓は付属していませんので、必要な場合は 右記品番の別売品をご購入ください。
- 〔 〕寸法は600サイズを示します。

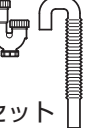
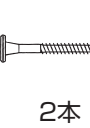
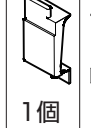


【床給水・樹脂配管の場合】

- 樹脂配管をご使用の場合は、TSAS4BJZAをご購入ください。
- 止水栓は付属していませんので、必要な場合は下記品番の別売品をご購入ください。



3 付属部品明細

排水トラップ	給水ふた (めっき管用)	シーリング プレート	防臭栓	壁固定用ねじ (φ5.2×55)	取扱説明書 (保証書付)	サイドキャップ 左用	右用
							
1セット	2個	1個	1個	2本	1冊	1個	1個

※水栓ユニットの付属部品は、水栓ユニットの施工説明書をご参照ください。

4 使用条件

- 水栓金具の使用条件は水栓ユニットに付属の施工説明書をご参照ください。

5 取り付け条件

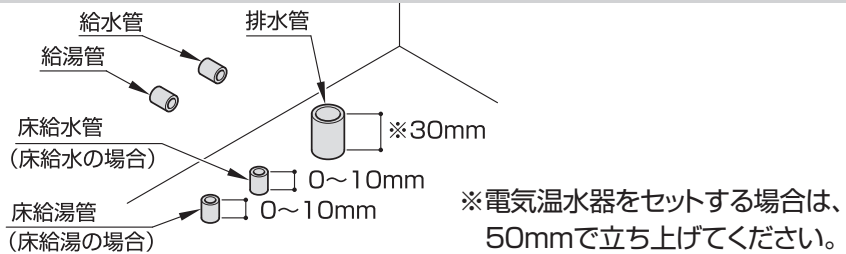
- 洗面化粧台を取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。
- キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れてください。
(木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。)(建築工事)

コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ 壁固定用ねじにあったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。

プラグは壁固定用ねじにあわせて、現場にて準備してください。
(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

- 給水管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立上げてください。
(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。)

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、シリコン系シール材でシールしてください。



7 取り付け手順(番号順に取り付けてください。)

- 荷扱いにご注意ください。ベルトのバックルや時計、指輪等で陶器に傷が付きます。
※もし傷が付いてしまったら、「蛇口まわりのクリーナー(別売品)」をスポンジなどに付けて、こすってください。
- 洗面化粧台をひきずらないでください。

1 キャビネットの引き出しを外す

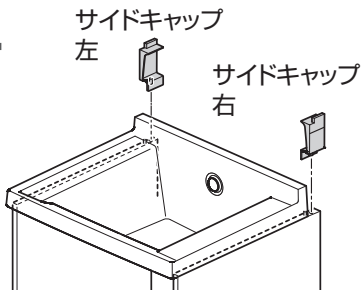
- 取り付け完了後、元に戻してください。
(引き出しの取り外しかた・取り付けかたは、8)取り付け完了後の確認と清掃をご参照ください。)

2 給・排水穴の穴あけ

- 給・排水の位置に合わせて洗面化粧台に給水、給湯穴(φ30～50×2カ所)、排水穴(φ50)を穴あけしてください。
- オプションで電気温水器を取り付ける場合は、給湯用の穴あけは不要です。
また、排水穴の穴あけ要領については電気温水器に付属の説明書を参照してください。

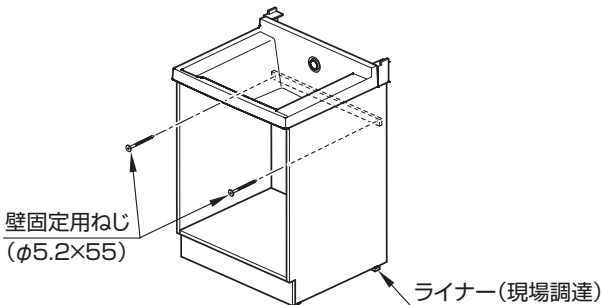
3 サイドキャップの取り付け

- 側板木口に開いている穴にサイドキャップを差し込んでください。
- ※サイドキャップの取り付けは、洗面化粧台を壁固定する前に行ってください。
- ※サイドキャップの方向に注意してください。



4 洗面化粧台の取り付け

- 裏板に開いたφ3の下穴を目印に付属の壁固定用ねじ(2本)で壁に確実に固定してください。
- ※商品は水平・垂直に取り付けてください。
(床・壁面にゆがみがある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。)



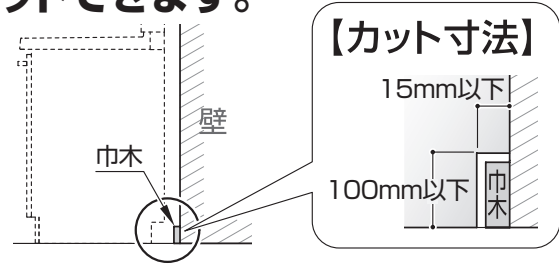
6 洗面化粧台を取り付ける前に

確認1 体重計収納付きですか？

- 洗面化粧台を設置する前に取り付けてください。
※取り付け要領は体重計収納の組立・設置説明書をご参照ください。

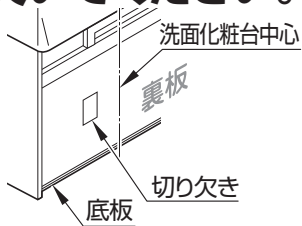
確認2 壁に巾木はありますか？

- 壁に巾木があり、洗面化粧台をそのまま設置できない場合、下記寸法以下であれば洗面化粧台後部をカットできます。



確認3 「きれい除菌水」生成器・魔法びん電気即湯器・フットスイッチユニットを取り付けますか？

- 取り付ける場合は、裏板を切り欠いてください。
※壁付コンセントの位置を確認した後、コンセントと裏板の切り欠きが合うように裏板を切り欠いてください。
- 取り付け要領を確認してください。
※取り付け要領は各商品に付属の施工説明書をご参照ください。



確認4 洗面化粧台用エンドスペーサー(LEWB030GDN型)を取り付けますか？

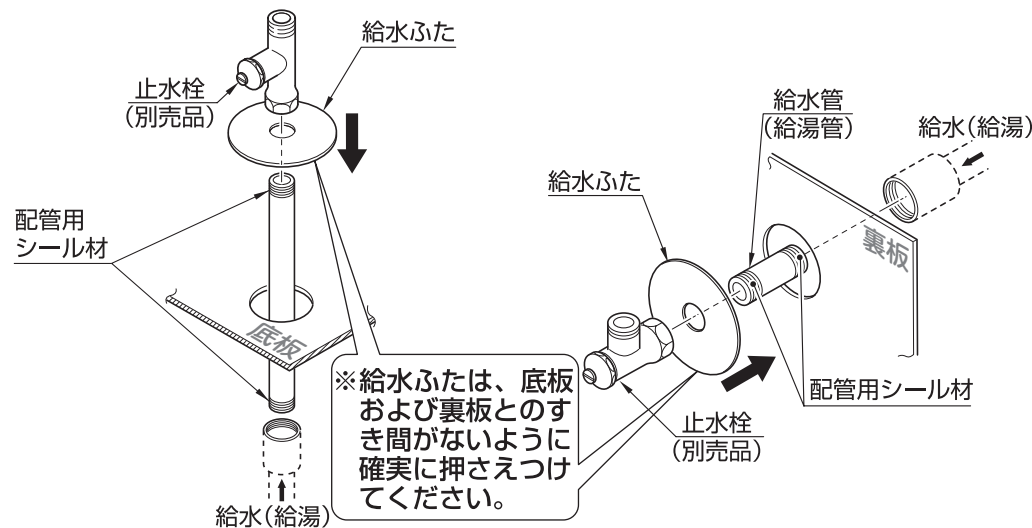
- 洗面化粧台を設置する前に洗面化粧台用エンドスペーサーを取り付けてください。
※取り付け要領は、洗面化粧台用エンドスペーサーの組立・設置説明書をご参照ください。

5 止水栓の取り付け

- 止水栓は工具で確実に締め付けてください。
- 樹脂配管対応はTSAS4BJZAに付属の施工説明書をご参照ください。

【床給水の場合】

【壁給水の場合】



6 水栓ユニットの取り付け

- 取り付けについては、水栓ユニットに同梱の施工説明書を参照ください。

【「きれい除菌水」生成器をセットする場合】

- 「きれい除菌水」生成器を取り付けてください。
- ※取り付けについては、「きれい除菌水」生成器の施工説明書をご参照ください。

7 水栓金具の給水・給湯接続

- 給水・給湯の接続は、水栓ユニットに同梱の施工説明書に従い接続してください。

【「きれい除菌水」生成器をセットする場合】

- 給水の接続は、「きれい除菌水」生成器に付属の施工説明書に従い接続してください。
裏面に続く →

7) 取り付け手順(続き)

⑧排水トラップの取り付け

⚠ 注意

- 必ず実行
・パッキンの方向に注意する
パッキンは下図の位置に取り付ける
ナット
パッキン
排水パイプ
30mm以上
- ・ナットは工具を使用せず
手で確実に締め付ける
水漏れの原因になります。
- ・排水パイプに無理な力
が加わらないように取り
付ける
- ・排水パイプは必要に応じ
てカットし排水管差し込み
しろは、35mm以上確保
する
水漏れの原因になります。

【床排水の場合】

- 排水トラップを排水金具の奥に当たるまで差し込み、ナットを仮締めしてください。
- 排水パイプを排水トラップに奥に当たるまで差し込み、ナットを手で確実に締め付けてください。
- ※シーリングプレート、または給水ふた同士が重なる場合は、重なった部分をカットしてください。
- ※切り込みを奥側にして貼り付けてください。
- 排水パイプにシーリングプレートおよび防臭栓を通して排水管に差し込んでください。
- 重要
防臭栓は、取り付け忘れ、すき間がないようにしてください。下水ガスが流入し錆・異臭の原因にもなります。

【壁排水の場合】別売品(L095)

★印は、別売品の壁排水トラップL095の部品を示します。

- 排水パイプを別売品のアダプター(下表)で確実に接続してください。
- 排水トラップを排水金具の奥に当たるまで差し込み、ナットを仮締めしてください。
- ナットは手で確実に締め付けてください。
- ※パイプ長さは現場に合わせてカットし、バリは取り除いてください。

8) 取り付け完了後の確認と清掃

- 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認してください。
- 商品に付いた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたく絞ってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。

重要

有機溶剤(シンナー・アセトン)などの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。
- 扉や前板に傷つき防止用保護シートが貼られている場合は、シートをはがしてください。
- 2段引き出しタイプ(LDCC060・075BC)の場合、給水・給湯ホースと引き出しが干渉しないことを確認してください。(引き出しが閉まらない、給水・給湯ホースが傷つく原因になります。)干渉する場合は、ホースのたるみがないように調整してください。
- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 扉・引き出しの傾き・がたつきなど丁番・レールのゆるみがないことを確認し必ず調整をしてください。

【着脱要領】

〈2段引き出しの取り外しかた〉

- 引き出しを完全に引き出す
- 引き出しの手前を少し持ち上げ、引っ張りながら一度下ろす
- そのまま引き抜く

〈2段引き出しの取り付けかた〉

- レールを奥まで押し込む
- 引き出しをレールの上に置き、そのまま押し込む
※「カチャ」と音がして、ロックされます。

⚠ 注意

取り付けした後必ず2～3回開閉して確実に取り付けられているか確認する
必ず実行 確実に取り付けられていないと使用中に引き出しが外れてけがをするおそれがあります。

禁止
ギャラリバー部分を持たない
ギャラリバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。

- 排水パイプは別売品のL0157をご使用ください。
- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプを別売のアダプター(下表)で確実に接合してください。

【アダプター接続の場合】

アダプターの種類	サイズ
T1122R(鋼管用)	R1 1/4
T1122J(塩ビ管用)	30用
L048(塩ビ管用)	40用
L049(塩ビ管用)	50用

※上記品番はアダプター・パッキン・ナットのセット品番です。
※T1122Jは排水パイプのカットが必要です。

⚠ 注意

必ず実行
接着剤は必ず、アダプターと排水管の両方に塗布する
片側のみ塗布した場合、水漏れの原因になります。

〈T1122J使用時の取り付け手順〉

- 排水パイプを現場に合わせてカットしてください。(右図参照)
- カット側をアダプターに差し込んでください。
- 排水パイプ上部を排水トラップの奥に当たるまで差し込んでください。
- ナットを手で確実に締め付けてください。

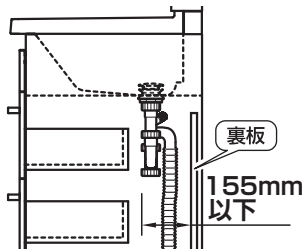
⚠ 注意

禁止
工具は使用しない
水漏れの原因になります。

- 排水トラップを設置したあとは、下図の範囲に納まっているか確認をしてください。

⚠ 注意

必ず実行
排水トラップを右図の範囲に設置し、引き出しが当たらないか確認する
水漏れの原因になります。



8) 取り付け完了後の確認と清掃(続き)

【調整要領】

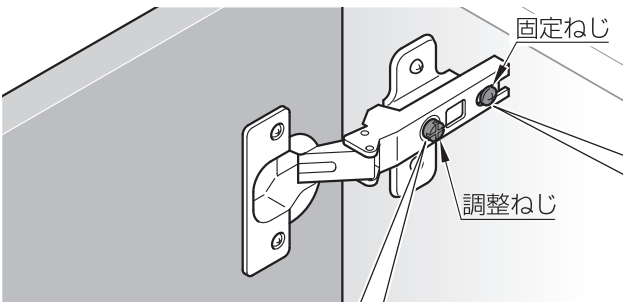
⚠ 注意



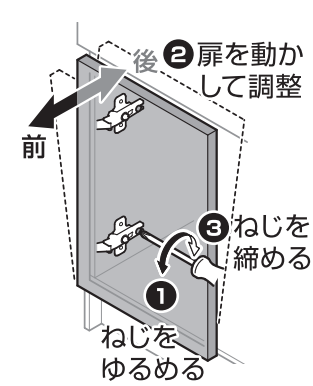
電動ドライバー禁止

部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。

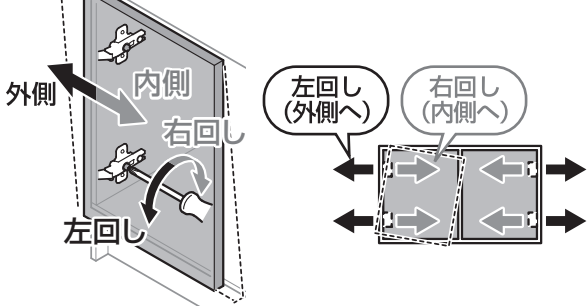
〈扉の丁番調整のしかた〉



〈前後のずれ〉 固定ねじで調整する。



〈左右のずれ〉 調整ねじで調整する。 ※ねじを回すと、扉が左右に動きます。



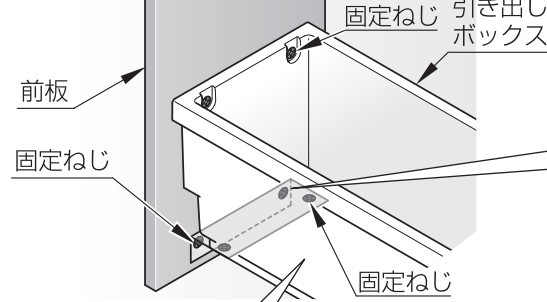
⚠ 注意



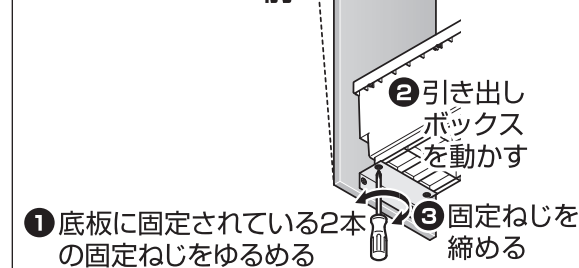
調整後、固定ねじをしっかりと締め付けて、ゆるみがないことを確認する

扉が外れて、けがをするおそれがあります。

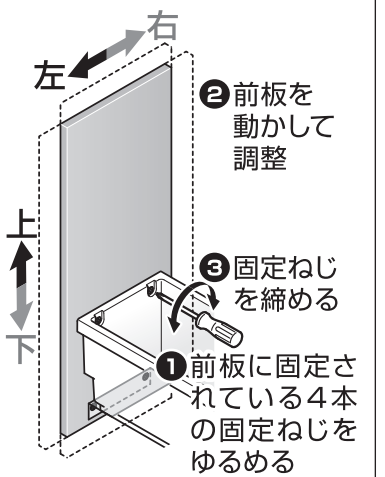
〈引き出し前板の調整のしかた〉



〈前後のずれ〉 引き出しボックスで調整する。



〈上下・左右のずれ〉 前板に固定されている4本の固定ねじで調整する。



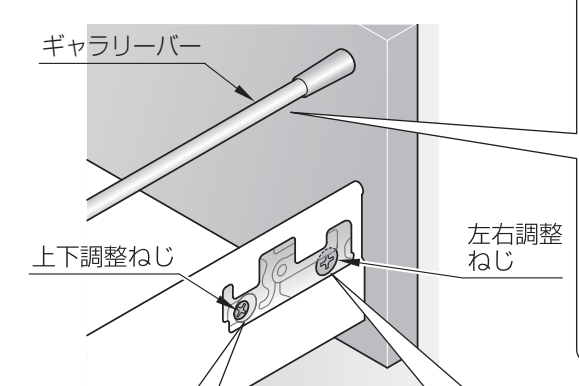
⚠ 注意



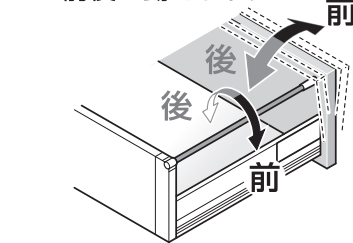
調整後は必ず、固定ねじを締め付ける

引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。

〈2段引き出し前板の調整のしかた〉



〈前後のずれ〉 ギャラリバーで調整する。 ※ギャラリバーを回すと、前板が前後に動きます。

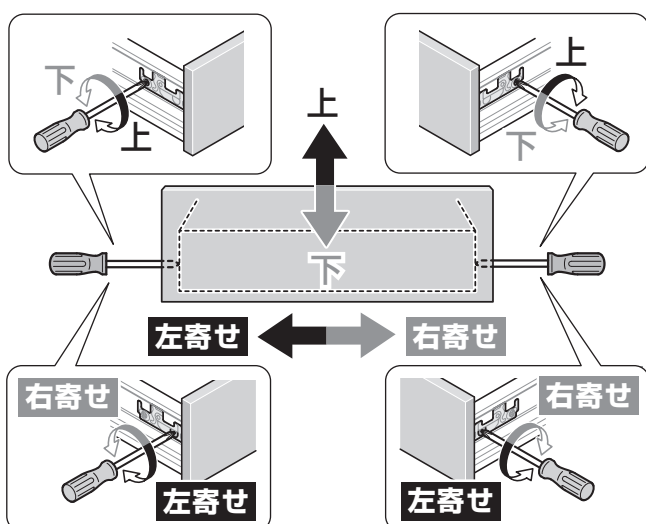


① キャップを取り外す



② 上下・左右調整ねじで調整する ※片側だけの調整では動きません。 必ず両側のねじで調整を行ってください。

〈上下調整〉 上下調整ねじで調整する



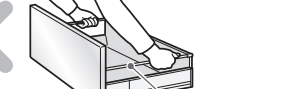
〈左右調整〉 左右調整ねじで調整する

⚠ 注意



ギャラリバー部分を持たない

ギャラリバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。



9) 寒冷地タイプの水抜き

- ・寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。
- ・「きれい除菌水」生成器の水抜きは、専用の施工説明書を参照ください。

⚠ 注意



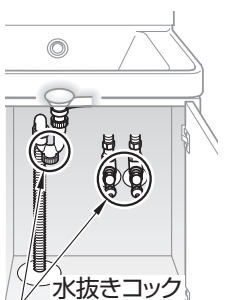
必ず実行

・凍結のおそれがある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と併せて、次の要領で水抜きをする

お客様にも水抜き方法をご指導ください。

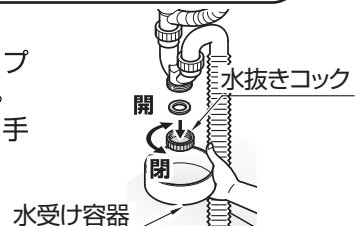
・水抜きコックは工具を使用せず手で確実に締め付ける

水漏れの原因になります。



【排水トラップの水抜き】

- ① 水受けの容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開けてください。
- ② 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。



【水栓の水抜き】

あらかじめ洗面化粧台の内部から引き出しや収納物を取り出してください。
〈次の手順に従って水抜きを行ってください。〉

- ① 配管部の水抜き栓などにより通水を止めて、水抜きを行う
- ② ハンドシャワーを全部引き出して洗面ボウルに垂らす
- ③ レバーハンドルを上げ、右側いっぱいにする
- ④ 水抜きコックのキャップを外し、水抜きコックを反時計回りに止まるまで回す(2カ所)
- ⑤ レバーハンドルを上げたまま左側いっぱいにする
- ⑥ ハンドシャワーを下向きにし、よく振って水を切ってから洗面ボウルに垂らす
- ⑦ 水が抜けたらハンドシャワーを元の状態に戻す
- ⑧ 水抜き完了後は、必ず水抜きコックを閉め、レバーハンドルを下げる(水が出ない状態)

